

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・そろそろ夜明けである。ちょっとぜいたくしたいという心理があるのではないが。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店の来店予約、来客数は、わずかであるが増加している。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・欧州の信用不安等があるが、全体的には回復基調にある。
		百貨店（売場主任）	・紳士靴は1年に1足から2足購入する男性が多いが、4月は新社会人などが増加している。購入まではしないこともあるが、新しい客の来店を期待している。
		百貨店（経理担当）	・今月に関しては、景気は下向きであるが、長いスパンで考えると景気の下げ止まり感はあるので、今後は回復すると思われる。
		百貨店（販売担当）	・より良い物、より長く使える物、より信頼を置ける根拠のある物へのニーズが高く、世の中の一般的な基準ではなく自分自身が設定した基準をクリアできる物や事への欲求が高まっており、新しい価値ある物、事を提案できれば、更に上向く可能性がある。
		百貨店（店長）	・食料品スーパーのテナントの入れ替わりにより、新規客の来店が期待できる。
		百貨店（販売担当）	・季節のずれもあり、動きは遅くなっていたが、高級品の売行きが良い。
		スーパー（営業企画）	・ここ2か月間ほど、客単価、買上点数を中心に上昇傾向が見られ、この先も続くと思う。
		コンビニ（企画担当）	・悪い雰囲気、材料は出尽くしている。円高も一服し、エネルギーも新しいアメリカのシェールガスの開発で、中東や原子力の呪縛から開放されるような明るい雰囲気がある。団塊世代の年金支給の本格化と人口減少の問題はあるものの、底は打っていると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・徐々にではありますが、新商品、カウンターフーズ、生活用品を中心に、たばこ以外の商品も伸長すると思われる。
		コンビニ（店長）	・気温の上昇と共に、飲料水やアイスクリームの売上が増加する。
		衣料品専門店（経理担当）	・ショッピングセンターの数値は、前年同月比で売上は0.7%増、来客数は6.8%増となっている。業界では、百貨店が前年同月比14.1%増であり、前年の東日本大震災の反動とも思えるが、上向きつつある兆しを感じる。食料品がけん引しているため、やや弱い感もある。
		乗用車販売店（経営者）	・今後、エコカー補助金のタイムリミットが近づけば、更に駆け込み需要が進むと予想される。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が5月に発売される。エコカー減税、エコカー補助金により、客の購買意欲が上昇してきているので、新型車の話題で店頭はさらに活気付くことが期待される。
		乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金の集客効果が余計に表れて、良くなると思う。
		乗用車販売店（従業員）	・5月より、各社が新エコカー減税に対応する車を出してくるので、改めて市場が活性化するのではないかと思う。エコカー購入補助金の残額が報道され始めると、より加速しそうである。新型車が発売され各社のCMが多数出ることとも予想されるため、今後の数か月間は期待している。
		乗用車販売店（販売担当）	・主力車種が、ゴールデンウィーク明けにデビューする。
		観光型ホテル（販売担当）	・各企業の決算後の総会を見ると、今のところ順調に受注しており、例年どおりの数字が期待できそうである。
	都市型ホテル（営業担当）	・法人利用、個人利用の予約が順調に推移している。企業の業績が顕著に反映しているように思われる。	
	都市型ホテル（経理担当）	・宿泊客や宴会の利用客が少しずつ増えている。	
	旅行代理店（経営者）	・販売量もそうであるが、客の様子も良くなってきている感がある。	
	旅行代理店（経営者）	・客層の動きがやや良くなる。	
	旅行代理店（従業員）	・オリンピック需要やサッカーのワールドカップ、岐阜清流国体など大イベントが控えており、それに伴うイベントの景気にわく一年になると思う。	
	タクシー運転手	・長い間悪い状態が続いたが、ここ2、3か月間は動いている。良くなるまではいかないが、悪くはならないと思う。期待したい。	
	テーマパーク（経営企画担当）	・新しいアトラクションの導入により、来場者数の増加が見込める。	

	美顔美容室（経営者）	・引き続き、キャンペーンにより好調が期待される。
	その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・規模は縮小したけれども、それなりの効果が収支バランスに表れつつある。
	住宅販売会社（従業員）	・ゴールデンウィークから、例年来場者数は増える。起爆剤は少ないが、節電などスマートハウスに興味を持った人の来場が期待される。
変わらない	商店街（代表者）	・相変わらず客の財布のひもは固い。特に変化はないように思う。
	商店街（代表者）	・株価が下落しているのが気になる。
	商店街（代表者）	・相変わらず必要な物以外に手を伸ばすことが少なく、販売量、売上に跳ね返ってこない。出入りの業者に聞いても、軒並み苦勞しているとの話を聞く。
	商店街（代表者）	・地域専門電気店にとって、テレビはなんと言っても重要な位置付けの商品であるが、価格がこれだけ下がっても、全くと言ってよいほど売れない。前年までで需要の先取りをしてしまった感は否めず、経営の大きな柱を一本失った状態は、この先数年間は続く。
	一般小売店〔食品〕（経営者）	・ガソリンだけではなく、原材料となるチーズ、チョコレート、砂糖、バター、野菜などが、こんな状況でも値上がりしている。その割に、商品価格はなかなか上げられないデフレ状態のような感じが見受けられ、本格的な景気回復には程遠い。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	・これまで無料だった周辺の駐車場が有料化された影響が、どう出てくるのか心配している。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	・東京などの新名所、大型店舗のオープンなどが派手に報道されているが、地方都市にはそんな話は全然聞こえてこない。ただし、当地域には大手企業の物流センターが進出するので、その影響に期待したい。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	・景気対策に期待が持てない。
	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・良くなる要因がなく、このまま前年並みを維持していくと思われる。
	一般小売店〔書店〕（経営者）	・以前は期待を込めて少しずつでも良くなるのではないかと思っていたが、1か月の間でも前半と後半で相当な違いが出る月が多く、この調子でいくと良くなっているのか悪くなっているのか分からない状態が続くと思う。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	・良くなる要素は見当たらない。
	一般小売店〔惣菜〕（店長）	・今後消費税の増税や政権運営の閉そく感から、将来の展望が望めない。
	百貨店（売場主任）	・天候不順のせいもあり、春物を購入するよりは前年までの服で代用し、夏物の購入にシフトしようかと買い控えている様子がかがえる。
	百貨店（企画担当）	・電気代の値上げが消費に影響を及ぼす可能性及び消費税を巡る政界の混迷など、景気を押し下げる要因が多く見られる。
	百貨店（経理担当）	・消費税等の議論が不透明化してくると、先行きの不安感から消費に悪影響を及ぼす。
	百貨店（販売担当）	・春物の動きがはっきりしなかったまま初夏に入ってしまった、売上は厳しい。
	百貨店（販売担当）	・ボーナス商戦が始まる時期であるが、今年の夏のボーナスはマイナス傾向と報じられており、特に製造業がメインの地域なので、影響が出そうである。
	百貨店（営業企画担当）	・上半期については、現状の傾向が継続すると予測している。
	百貨店（経営企画担当）	・最近再び円高、株安傾向にあり、高額品の動きが今までどおり続くかどうかかわからない。また、セールスの動きなどもあまり芳しくない。しかしながら、消費動向は総じて底堅く推移するものと思われる。
	スーパー（経営者）	・電気料金等の値上がり等があり、所得が増えないなかで支出が増えている。企業も売上が伸びないなかで公共料金が値上がりし、利益の減少につながり、景気の回復にマイナスとなる。そのため、景気も良くならない。
スーパー（経営者）	・明るい兆しが見えない状況にあり、消費者の買い方の変更等の悪い材料が生まれ、売れない状況は今後も続く。	
スーパー（店長）	・電気代の値上げ等の話が続いており、生活全般に関係することで、それに対する不安で先行きは不透明である。ガソリン等燃料の値上がりは収まったが、高止まりという感じで、不安に対して消費という動きはあまり活発ではない。	
スーパー（店員）	・広告を出しても、お買得品や値下げ品ばかりの購入が目立つ。	

スーパー（店員）	・新商品や単価の高い物を新規に入れても客の動きは変わらず、今までどおりの商品を今までどおりの価格で購入する客が多く、大きく変わらないと思う。
スーパー（店員）	・余分な物は買わず安い物しか買わないので、売れる状況にはなかなかならない。
スーパー（総務担当）	・生鮮食品、野菜の売上が極めて悪く、初夏に向けての商材の計画が見えてこない。
スーパー（営業担当）	・今後も変わることはないと思われる。
スーパー（販売促進担当）	・スーパーの全体の景気動向は良くなく、自店でも競合出店等が今月あり、良くなる傾向がない。
スーパー（販売担当）	・売上に動きが無い。
コンビニ（エリア担当）	・購買意欲が改善すると言っても少しずつなので、大きく改善するものではない。
コンビニ（エリア担当）	・ここ数か月間、来客数や客単価の数値の変動は変わらず、全体の押し上げにはしばらく掛かりそうである。
コンビニ（店長）	・大企業は今週以降に良くなることを見込んでいるようであるが、客の購買の仕方を見ていると、多少良くなっても消費には回らず、今の状況が続く。
コンビニ（商品開発担当）	・たばこ増税による効果の恩恵が、下降してくる点はマイナス要因である。5～7月に例年と比較して気温が高まることにより、来客数の増加が見込まれ、売上構成比の高い飲料及びFF商材の販売が高まる。また、節電による需要が見込まれる点は、プラス要因である。双方の効果により、変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・春が短く、ぱっとしない。
衣料品専門店（経営者）	・夏物は単価が低く、洗い替えも欲しい。その上パーゲンになっているので、昔のようにまとめ買いという客が少なくても、それなりに売れると思う。
家電量販店（店員）	・今が底であると考えられる。少なくとも年数の経った家電製品の買換え需要がある。
家電量販店（店員）	・下期に入るまでは、現状が変わるかどうかなかなか読めない状況である。ただし、家電エコポイントによる売上の影響は、今後2～3年掛かるのではないかと思われる。
家電量販店（店員）	・依然として円高で、オイルショックに近いような状態が起これなくもない。しばらく鳴かず飛ばずの状態が続く。
乗用車販売店（営業担当）	・客との会話で、景気が良いという話を全く聞かない。
乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金が車の販売を後押ししており、増販が見込める。補助金の予算が限られており、駆け込み受注も見込めると思われる。
乗用車販売店（従業員）	・新しい明るい材料もなく、先行きについて具体的な見解ができない。
乗用車販売店（経理担当）	・エコカー補助金の予算切れがいつ頃になるかにもよるが、とりあえず2～3か月先での予算切れはないと思われるので、現状と変わらないと推測する。ただし、ユーザーの動きによって大きく左右されるので、先行き不透明感はぬぐい去れない。
乗用車販売店（総務担当）	・東日本大震災による供給不足が解消し、また補助金効果もあり、夏ごろまでは好調な状態が続くとみている。
高級レストラン（スタッフ）	・東日本大震災による自粛ムードや前年夏の放射能汚染問題による来客数の落ち込みからの反動を考慮すると、最近の来客数の増勢は微弱である。
一般レストラン（経営者）	・良くなる要因が見受けられない。
一般レストラン（従業員）	・静岡では東海、東南海、南海沖地震の3つ連動の可能性とその被害等の話題で持ちきりである。災害に備える意識のなかで、自粛ムードが強く漂っているように思う。
その他飲食[仕出し]（経営者）	・消費税論議の結果次第で、相当左右される。
観光型ホテル（経営者）	・宿泊者数は前年並みであり、前々年の水準にはない。回復基調にはあるが、弱い需要でしばらく推移すると思う。レジャー関係の消費が著しく良くなるという楽観視はできない。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断している。
都市型ホテル（支配人）	・材料がない。
旅行代理店（経営者）	・北朝鮮問題や、ガソリン価格の上昇等の不安定な要素があるため、今後も楽観視できない。

旅行代理店（経営者）	・根本的な成長戦略がなければ、多少の景気回復は消費増税と相殺されると企業は考えており、海外への逃避が一時的には増える可能性もあるが、消費の減退と相殺されると思われる。	
旅行代理店（従業員）	・今年も原子力発電所問題で電力不足が言われているが、前年の反動があるので、前年よりは来客数は増加する。	
タクシー運転手	・今年は前年よりは良くなっているが、問題も多く心配である。	
タクシー運転手	・タクシー業界では減車による個人の売上の多少の増加はあっても、全体での需要増加は見込めない。特に朝昼の需要の減少がひどく、この先伸びていく明るい材料はない。	
通信会社（企画担当）	・消費税増税等の先行き不透明感が、節約ムードにつながっていると思う。節電等、小さく暮らすライフスタイルに変わってきているのかもしれない。	
通信会社（営業担当）	・新しいサービスの伸びを期待しているが、今年度は難しいと思う。次年度以降に期待したい。	
通信会社（営業担当）	・増税との一体改革と言いつつ、国民の期待感に対して動き等をなんら感じる事がなく、かつ国民に「あきらめ」と「失望感」を感じる。	
テーマパーク（職員）	・レジャー産業としては、好景気感が感じられない。	
観光名所（案内係）	・特に良くなることは考えられない。	
ゴルフ場（企画担当）	・2か月先の6月は、来場者の予約数に関して、前年同月よりは少し増えている。しかし、景気が上向きというほど増えてはならず、梅雨等の天候によっては大きく変わる可能性もある。	
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・梅雨に入ると今の出荷傾向も落ち着くが、入浴用品の出荷が増えてくると予測している。	
設計事務所（経営者）	・計画案件がここしばらくの間、件数は増加している。しかし、計画では実収入にならないので、今後いかに実施設計につながるかが問題である。	
住宅販売会社（従業員）	・少し受注は上向き傾向であるが、一時的なものと思われる。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・政治の方向性、政治家の態度、マスコミの対応及び発信、どれを取っても明るい話がない。この夏の電力が足りないなら、同じことばかりやっている民間放送局を一局にしてはどうか。夏の間だけでも一局で行なえば、マスコミの信用性も増すし、節電効果は飛躍的に伸びる。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・贈答品は将来的には少なくなる。自分のことには、頭を使いお金を掛けずに幸せを得る方向に向かっている。お金を使ってプレゼントをするという価値観は変わってきているという傾向が見られる。
	百貨店（営業企画・販売促進）	・前年あった防災グッズやクールビズなどの節電需要の盛り上がりは本年は見込めないことから、新たなマーケットのうねりがなければ苦戦が予想される。
	スーパー（店長）	・来客数、売上増加のため、今まで年末しかなかったチラシ販促を計画中である。この地域に少なからず影響を与えて、身を削った安売り競争になりそうな予感がある。
	スーパー（商品開発担当）	・エリア、部門を問わず厳しい状況が続くが、前年は自粛と巣ごもり需要があった反動で、しばらくは食品部門も含めて現状と同じような動向が続くと思われる。
	コンビニ（店長）	・増税気配で、客の購買意欲が上がらない。とにかく売れていかない。
	コンビニ（店長）	・商品の売上単価は、5%ほど下落している。まだまだ低単価志向は続く。
	乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金が思ったより早く終了しそうなので、補助金効果で上がった景気が落ち込むことが予想される。
	乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金の実施が始まったが、宣伝不調で思いのほか早く終わっており、それが客にも伝わっている。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・政府が機能不全に陥っている。
	スナック（経営者）	・この先の来店予約も少なく、東日本大震災以降自分も財布のひもが固くなっており、当然客からも感じ取れるため、あまり期待できない。
	都市型ホテル（経営者）	・来客数は変わらないが、客単価は悪いままで変わらない。
	通信会社（サービス担当）	・移転など、回線の変更がなくなるので、今よりも景気は悪くなると思う。
	テーマパーク（職員）	・今年はスカイツリーや九州新幹線など、他方面への観光が多い。
	パチンコ店（経営者）	・業界全体が薄利多売方向へ動いている。
	美容室（経営者）	・まだまだ見通せない。消費税増税の不安などから、お金を使わない人が多い。

		美容室（経営者）	・今月は新生活ということもあり景気も上向きであるが、今後はそんなに動きはない。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・年度が変わってから、企業の設備投資などの見積依頼がめっきり少なくなっている。
		その他住宅〔住宅管理〕（従業員）	・来店客との話では、先行き不安で収入、年金、税金などについて様子を見るという人が多い。
悪くなる		一般小売店〔電気屋〕（経営者）	・企業の統合などで、市内から移転したり配置転換などがあり、今後大きく家電製品が動く予定が少ない。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	・景気回復は依然として進んでおらず、増税、円高、株安で消費者の購買意欲は低下している。高齢者は先行き不安を口にすることが多い。
		理美容室（経営者）	・仕事があっても単価が安く、これからどんどん悪くなるのではないかと。
		理容室（経営者）	・今の状態では、まだまだ景気は良くならない。
		住宅販売会社（経営者）	・所得がまだ減るようで、なかなか家の購入までお金が回らない状況と、買い控えがある。
		住宅販売会社（従業員）	・賃貸住宅を持っている大家達も、賃貸住宅への入居状況が芳しくないため、大家の自宅の修繕等も手控えているようである。賃貸住宅への入居状況が回復するとゆとりができ、自宅を修繕したいと思っている人も増えると思われる。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
		食品品製造業（経営企画担当）	・原子力発電所停止による節電対策の問題は残るが、前年の経験から、今年は冷静な対応ができると思われる。むしろ暑さ対策関連商品の販売の伸長を期待したい。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・夏季の飲食店企画を実施する時期であり、売上の増加が見込める。
		電気機械器具製造業 輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・ある程度の期待を込めている。 ・しばらく生産増が続くと思う。
		建設業（経営者）	・欧州の信用不安や原油価格などの懸念材料があるものの、緩やかに景気は回復基調にあり、消費者マインドも決して悪くない。
		輸送業（エリア担当）	・円高が改善されている、欧州の信用不安が小康状態である、製造業が活気付いてきているなどの複合的な理由がある。
		企業広告制作業（経営者）	・前年を底とすれば、良くなる。
		会計事務所（社会保険労務士）	・止まっていた定期昇給を再開したりする事業所がある。また、近くでは中規模な商店が新たにオープンしたりしているので、少しは消費が活発になるのではないかと。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・当面、継続しつつある。逆にパートナーの要員がだぶついてきているのか、提案が多い。
変わらない		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・新規見積の引き合いにおいて、段ボールケースの製品見積が低調である。従来の製品構成で今後も生産販売するため、変わらない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・現在の受注量、販売量がこのまま続く。全体的には変わらない。
		化学工業（企画担当）	・今後3か月間の受注量は、前年と同様に売上の月割予算に対して平均量が予測されている。中部圏の景気回復傾向の好影響が出てくるのには、時間を要すると思われる。
		化学工業（人事担当）	・売上単価、販売量は業界により異なるが、全体的に見て大きく変動する原因は見当たらない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・取引先の増産の可能性は低く、新規品はまだ評価が定まっておらず、定期的な受注が見込めない。現状維持である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・地場産業のタイル、食器の売行きは、住宅着工件数次第である。平成22年9月～平成23年11月の住宅着工件数が204,114戸であるのに対して、平成23年12月～平成24年2月の同件数は201,981戸と1%減少しているが、過去の経験からタイルも食器もあまり変化はないものと考えている。
		鉄鋼業（経営者）	・原子力発電所の影響による復興の進展の遅さ、円高ユーロ安による輸出の減少など、政治力の無さにより、国内のものづくりに対してダメージが出ている。
		金属製品製造業（経営者）	・先行して使用される商品の出荷量が比較的多いため、今後使用される商品の出荷量は減少しないことが予想される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・先行きはまだ不透明である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・自動車は堅調な回復基調にあり、情報通信は増産前の準備期間にある。F A、工作機械は、第1四半期までは在庫調整が続く。

		電気機械器具製造業（経営者）	・例年ならば年度替わりで受注量も上向く傾向であるが、今年は今全く感じない。仕入価格が下がるという、年度替わりには通常起こり得ないことも発生しているため、相当悪い状況になってきているのではないかとと思われる。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・夏頃に現在生産している車種が生産打ち切りとなり、その後継車がタイで生産されるため、日本での生産量は落ちる。
		輸送業（経営者）	・客の国内生産、輸出入共に、比較的安定的に推移すると考えている。
		輸送業（エリア担当）	・大手自動車メーカー関連は4月から週休2日制になり、しばらくはこのままの状況で推移して行く。
		輸送業（エリア担当）	・荷物は増えているが、それに対して人の集まりが悪い。近辺では時給は上がってきてはいないが、そろそろ上げないと今後は人が集まらないかもしれない。経費は増加していきそうである。
		輸送業（エリア担当）	・先行き不透明な状態にあり、世界情勢や円高の問題などの危惧から、今のところ停滞している。
		金融業（法人営業担当）	・当面、自動車部品メーカーの生産は高水準を保つとみられる。
		金融業（企画担当）	・日経平均株価の動きが鈍く、円も高値安定している状況である。株価の上昇や、円安への動きが見られてこない、個人投資家も動きにくく、当面は現状のような景気が続くと思われる。
		不動産業（経営者）	・低迷のまま推移する。
		不動産業（管理担当）	・現行の状態がかなり底の状態であり、当面はここから二番底が来るとは思っていない。
		広告代理店（制作担当）	・夏に向けての企画等を提案しても、先行きが不透明なため、しばらくは大きな変化はなさそうである。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・スポーツ新聞の値上げにより、購読中止の申し出が心配される。
		会計事務所（職員）	・政局不安もあるようであるが、中小企業者は現状確保が一番の得策と考えている人が多い。関与先業者の動向を見ている、方向は見えてこない。
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・動きは出てきたようであるが、勢いが出てきたというわけではないので、現状維持がいいところではないかと思う。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・これから先は円高に振れていくと思うので、全体としては厳しい状態になる。国内はエコカー減税でまずまずの状態が続く。日本銀行は、中小企業に資金が回るようにして欲しい。
	やや悪くなる	印刷業（営業担当）	・周りからも良い話は出ず、ここにきてやはり同業者との価格競争に陥っている。当然、単価を安くすれば売上も減少するので、数字は悪くなる。景気が良くなる方向に向かっているとは思えない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・夏の節電やサマータイムなど、我慢を強いられる生活に入ることもあり、消費に対する積極性も頭を押さえられた感がある。
		輸送業（従業員）	・原油価格が高止まりして、収まる気配が無い。また、政府も本腰を入れて原油価格に対して対策を打たないなど、国民生活に関心が薄く、期待が持てない。
		金融業（従業員）	・2、3月に生産を上げて作り貯めた分を、4月ははき出させる動きがメインとなる。生産側はさほどストックする必要が無く、仕事量は減少しており、今後は暇になる可能性が高いとの声が多い。
	悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・パーラー関係の取引先の景気が悪いため、設備投資は見込めない。
		公認会計士	・政府による景気対策がない。復興需要が一巡した後は、円高、欧米経済の弱含み等の要因が顕在化すると思われる。製造業の海外移転は、今まで以上に進むと考えられる。金融円滑化法の期限が迫っているが、これへの具体的な対処方法がない。
雇用関連	良くなる	人材派遣会社（経営企画）	・客の好調状態は継続している。
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・求人数の動きはここ数か月間活発になっているが、人材については厳しく募集をかけてもなかなか集まらない状況が続いている。おそらく、これも改善されるのではないかと思う。
		人材派遣会社（社員）	・引き続き、正社員雇用の求人案件は増加傾向にある。
	人材派遣会社（支店長）	・当地区においても、適正化による業務委託化を決定する企業が増加してきているため、売上は微増であるものの、回復傾向はしばらく続くと予想される。	

	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・東日本大震災に伴う自粛への反発か、車に関してはファミリーカーから高級車まで幅広い購買層がある。今後も、エコカー補助金の後押しもあって、上向きに推移すると予想する。
	職業安定所(職員)	・岐阜では国体が開催されることから、建設関係の求人がやや増えている。建設以外でも、卸・小売業、飲食、宿泊サービス業の求人が、東日本大震災の自粛ムードの緩和からか、やや改善傾向にある。国体の開催は、当面の間は景気回復を後押しすると思われる。
	学校[専門学校](就職担当)	・本来は文系学生の志望先である弊社の求人に対して、増加傾向にあった理系学生の志望が減少してきている。企業の雇用の回復がうかがえる。
変わらない	人材派遣会社(営業担当)	・政情は不安定であり、原子力発電所問題と景気対策が二の次になっている状況にある。
	人材派遣会社(営業担当)	・ここしばらく株価は9,500円前後で停滞しており、前向きな期待があまりできない。
	職業安定所(所長)	・エコカー補助金等の影響により求人は増加するものの、求職者が希望する正社員求人は、円高等の影響による海外からの安い部品の輸入や原油等の高騰による先行き不透明感から、依然として少ない状況が続くと思われる。
	職業安定所(職員)	・求職者数が減少し、求人数は増加傾向が継続しており、景気に動きが出てきている。そのなかで、小・零細企業では円高や原油高の影響が依然として厳しい。全体としては、まだらな状況が見て取れる。
	職業安定所(職員)	・新規求人数の増加につながるような要因は、新東名の開通で販売、卸、宿泊等が若干伸びた具合で、今後の先行きはまだ不透明である。ものづくりの方も、年齢構成を考えて求人を出している企業が多いので、まだまだ増産体制にはない。
	職業安定所(職員)	・休業の相談をする会社もあり、景況感の良い会社と悪い会社の差が拡大している。
	民間職業紹介機関(支社長)	・夏場以降の半期決算見通しなどで左右されられると思われる。
やや悪くなる	人材派遣会社(社員)	・来月は地元の祭りがあるが、前年は自粛で取り止めたため、既に盛り上がっている。しかし、事業の景気にはあまり関係がなく落ち込むが、市内の景気は良い。
	職業安定所(次長)	・自動車製造企業の話では、現在はエコカー補助金で自動車販売は比較的好調であるが、補助金は本年度上半期で予算を消化してしまう見込みで、下半期は販売が落ち込む可能性がある。そのため、下半期は派遣企業との契約を切るかもしれないとしており、それを考慮している。
悪くなる	-	-